

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Table with 4 main columns: 事務事業名, 基本政策, 事業期間, 事業の内容. Includes details like '滞在型市民農園管理事業', 'にぎわいと活力あふれる都市づくり', and a list of expenses.

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

Table with 2 columns: 現状把握 (DO) and 指標 (KPI). Rows include ①活動, ②対象, ③意図, ④上位目的, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(2) 事業費・指標の推移

Table showing financial trends and indicators from 2023 to 2028. Columns include 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, and 最終年度. Rows include 事業費 (国庫支出金, 事業費計), 活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標.

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table with 2 columns: 状況 (Situation) and 市民意見 (Citizen Opinions). Rows discuss the start of the project, changes in user interest, and stakeholder expectations.

(4) 改革改善の取り組み状況

Table with 2 columns: 取り組み (Initiatives) and 状況 (Status). Rows describe reform efforts, current status, and specific actions taken in FY24.

事務事業名	滞在型市民農園管理事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 本事業の目的は遊休農地対策と利用者と地域住民との交流促進を目的に地域の活力を向上させることにある。農産物のブランド化と販路の拡大に位置づけられているが、この都市生活者との交流を通して、南アルプスの農産物などを知ってもらい知
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 農業の育成に行政の支援は必要であるが、農地も個人資産であるため、地元の主体性などがなければ、対象地における遊休地対策という小さな枠(事業)に収まってしまふ。行政は、人材育成を図り真の地域リーダーを育成すれば地域に維持管理をゆだねることが可能になる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 遊休農地対策及び利用者の農作業の体験及び地域との交流が図られていること並びに契約期間が長期にわたり滞在型は全て契約しているため維持していく必要がある
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市の業務としてではなく、地元が主体となって利用者との交流機会を増やすことで、親近感や信頼感が醸成され、市主体の事業運営よりも成果の向上の余地は高い。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 20年の借地契約となっており、契約解除後には、再び遊休維持管理事業を中止すれば、現状復帰での返還となるため、費用が高む上に、国庫補助金の返還が伴ってくる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 地元主体での維持管理が出来るようになること並びに、日帰り農園の未契約区画の解消が図られれば可能である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 地元主体での維持管理が出来るようになれば可能である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 現在は契約者の年間使用料内での維持管理を行っているが、年数の経過とともに経費が増大することが予測される。そうなると一般財源の投入と言うことになるが契約者は、本市に住民登録していないので、市民からすると不公平感否めない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	湯沢エリアが完成し滞在型30区画及び日帰り型20区画の維持管理事業となる。収入額が、使用料合計で1220万円となるが、この収入を持って維持管理経費とする必要がある。支出の多くはスタッフの手当てである。この手当ては、農業に携わったことがない契約者に指導することや除草などの環境整備等を目的としており、市職員に出来ないことを年間を通じてお世話願っているものであり必要経費である。維持コストを下げるためには、この経費を削減する方法を考え、市民に不公平感を与えないよう努力する必要がある。また、日帰り農園について全ての区画の利用契約が出来るよう募集活動を継続させる必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
①関係者の努力による経費の削減を進める。 ②地元主導の事業形態として、お世話役やスタッフが慣れてきたら、指定管理者制度に移行し地元で維持管理を行う。 ③日帰り農園の未契約区画をなくす。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
①市役所が主体となった契約者に対する接待的な事業を廃止し、契約者や地域農家が主体となって行いたいと思う事業に対して支援する。 ②指定管理に向けた地元との協議と市役所任せという地元住民の意識改革を行う。 ③契約者にも自身のこととして定期的な掃除や草刈を行うように信頼関係を築く。 ④日帰り区画の利用率が高まらないのは、サルを代表とする有害鳥獣による被害が心配される地域であるので、駆除をすすめる。																						